

日時 令和〇年 〇月 〇日
 場所 〇〇小学校
 指導者 〇〇〇〇

1 単元名 『買い物に行こう』

2 単元について

(1) 児童の実態

本学級は、第2学年、第3学年、第4学年合計4人の児童が在籍する肢体不自由学級である。

児童は、日常生活において、遠方への移動手段はほとんどが自家用車で、公共交通機関を利用する機会は少なく、買い物に出かけても、お金を支払う経験はほとんどない。公共交通機関を使った買い物学習は、昨年も経験しており、児童は、今年も買い物に行くことを楽しみにしている。

児童は、生活単元学習に意欲的に取り組むことが多く、1学期は、畑を耕し、夏野菜を育て、収穫を経験した。

買い物学習に関する調査は、次の通りである。

項 目	ある	ない
買い物学習以外で、公共交通機関を利用したことはありますか？	1	3
買い物学習以外で、レジで自分で支払ったことがありますか？	0	4
自動販売機で、ジュースを買ったことがありますか？	1	3

個々の児童の実態は次の通りである。

児童	実 態
A児	・10までの数は、概ね正しく数えることができる。時計の針は、〇時が読める。金種がわかる。ひらがな50音の読み書きがほぼできる。
B児	・くり上がり、くり下がりのある計算ができる。〇時〇分が読める。金額を見て模型のお金を出すことができる。文章問題が苦手である。
C児	・くり上がり、くり下がりのある計算ができる。〇時〇分が正確に読めることもある。金額を見て模型のお金を出すことができる。話し方がゆっくりで、順序立てて説明したり文章を書いたりすることが苦手である。
D児	・くり上がりのある1桁のたし算は、指を使ってできる。〇時30分が正確に読めることもある。金額を見て模型のお金を出すことができる。初見の文章は、拾い読みのことが多い。

(2) 本単元は、公共交通機関を利用して地域の大型ショッピングセンターへ行き、買い物をする体験を通して、学んだことを生活に生かし、自立に向けた必要な力の素地を養うことをねらいとしている。『お楽しみ会』を開くにあたり、必要なものを自分たちで話し合い、買う物を分担したり、バスの時刻を調べて日程表を作ったりする。公共交通機関を利用する際には、公共の場におけるマナーをはじめ、時計の読み方、運賃の支払い等が必要であり、買い物の場面では、お金の計算や店員さんとのやりとり等が必要である。それらを、合科的に系統立てて学習していくことで、学習によって得た知識や技能が実際の生活の場で活用され、また、成功体験を増やすことで、自信につながり、今後の学習意欲の向上にもつながっていくものと思われる。買い物学習の前段階として、学校近くの自動販売機でジュースを買う体験をする。単元の振り返りでは、出来事を振り返り、みんなの前で発表したり文字に

書いたりすることで、自分の思いや気持ちを伝え合い、友達とコミュニケーションする意欲や技能を育てることを目指す。児童の実態からみて、これから身に付けていきたい力と重なる部分が多く、実践的・具体的な内容の指導は、児童の生活や社会で求められる力を養う単元であると考えられる。

本単元に関わる各教科の内容（特別支援学校学習小学部指導要領）は、次の通りである。

- (生活) ク金銭の扱い ・金銭の扱い方などの知識や技能を身に付けること。
ケきまり ・簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けること。
- (国語) A聞くこと・話すこと ・相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり相手の思いを受け止めたりすること。
B書くこと ・見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。
- (算数) A数と計算 ※金銭の価値に親しむ。㊦金種の理解 b様々な種類の貨幣のもつ価値を理解する。
C測定 イ (㊦) ㊦ 日常生活の中で時刻を読むこと。

※・『3 指導計画の作成と内容の取扱い』に記述あり。

(3) 内容の構成と単元の系統は次のとおりである。（本単元では、いずれも、2，3段階に相当）

生活	国語	算数
<p>ク 金銭の扱い ○1段階 (㊦)身の周りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすること。 ○2段階 (㊦)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性に気付くこと。 (イ)金銭の扱い方などを知ること。 ・教師に援助を求めながらも、できるだけ自分で買い物をする。 ・保管する。 ・実際に金銭を払う。 ・買い物に必要な会話をする。 ・決まった額の買い物をする。 ・品物を選んで買う。 ○3段階 (㊦)日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れること。 (イ)金銭の扱い方などの知識や技能を身に付けること。 ・金銭の受け取り ・人とのやりとり ・おつり、レシートの取り扱い ・金種ごとに数える ・両替 ・目的に応じた買い物 ・買い物に必要な言葉を使う ・おつりのある買い物 ・値札を見て買い物</p>	<p>A 聞くこと・話すこと ○1段階 ウ 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。 ○2段階 ウ 体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。 ・相手に伝えたいことを思い浮かべ、自分の知っている言葉に当てはめよう、表そうとする。 ・映像や写真を手掛かりにして体験したことを思い出す。 ・友達の表現を聞いて「同じ」「違う」などと比べる。 ○3段階 ウ 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすること。 ・見聞きしたことのおおよそその際の自分の気持ちに当てはまる言葉を探す ・話す順番などを検討する。 カ 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり相手の思いを受け止めたりすること。 ・相手の話に関心をもつ。 ・話のおおよそを捉える。 ・感じたことを述べる。</p>	<p>C 測定 ○3段階 イ(㊦) ㊦ 日常生活の中で時刻を読むこと。 ・正時を示すアナログ時計の短針と長針を読み取る。 ・時は短針、分は長針で決まること。 ・時間の単位を大まかに捉えること。 (イ) ㊦時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現すること。 ・日課表を読む。作る。 ・日常生活における時間についての計画を立てる。 ・生活時間の目安を作る。</p>

・レジの場所が分かり代金を支払う。

ケ きまり

○1段階
 (ア)身の周りの簡単なきまりに従って教師と一緒に行動しようとする事。

○2段階
 (ア)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとする事。
 (イ)簡単な決まりやマナーについて知ること。
 ・停留所では並んで順番を待つ。
 ・順番を守って乗り物の乗降をする。

○3段階
 (ア)日常生活の簡単な決まりやマナーが分かり、それらを守って行動しようとする事。
 (イ)簡単な決まりやマナーに関する知識や技能を身に付けること。
 ・公共交通機関を利用する際のきまりを守る。
 ・バスや電車では静かに行動したり過ごしたりし、その理由も分かる。

・相手の話を受け止める。

B 書くこと

○1段階
 ア 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。

○2段階
 ア 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。
 ・具体物や絵、写真などを手掛かりにして、経験したことを想起したり、具体的な言葉を用いて考えたり表そうとしたりすること。

○3段階
 ウ 見聞きしたり経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。
 ・児童が取り上げた対象や自分の思いを文字として書き表すこと。
 ・取り上げた対象や自分の思いを伝えたり、思い返したりすることができる楽しさを実感すること。

3 生活単元学習 年間指導計画

内容	1学期	2学期	3学期
○夏野菜を植えよう (→野菜パーティー)	—————		
○暑中見舞いを出そう	—		
○買い物に行こう (→お楽しみ会)		—————	
○冬野菜を植えよう (→おでんパーティー)		—————	
○年賀状を出そう		—	
○花を植えよう			—————

4 研究テーマについて

【特別支援教育部会 研究テーマ】一人一人の輝きが見える授業のあり方
 ～特別支援学級の中で～

児童生徒の輝きとは、学習に意欲的に取り組み、「できた」「わかった」と充実感や達成感を感じている姿であり、友達と関わる中で、互いを認め合ったり考えを深め合ったりする姿であると考え。一人一人の実態が違うように、一人一人が輝く場面も、『挙手して発表する姿』『自分の課題に向かって取り組む姿』『友達の考えを聞いている姿』『友だちの意見に反応する姿』『話を集中して聞く姿』などが考えられる。それらの姿を引き出すために、以下の点に留意しながら、指導・支援を行いたい。

○見通しをもたせる

単元の流れが分かるような活動表を作成し、活動の見通しがもてるようにする。また、1時間の学習の流れを示す。

○教材や活動場面の工夫

- ・児童一人一人の実態や目標を明確にし、それに合わせた活動内容にする。
- ・できるだけ具体物を使いながら、操作活動を多く取り入れることで、児童の学習意欲を持続させるとともに、一人一人が活動できる場を設定する。
- ・児童がお互いに関心をもち、関わり合いながら学べるような指名、声かけ、教え合いの場を作る。

○評価

- ・児童の学習への振り返りの時間を設け、児童の様子と、手立てに対する評価を行う。

5 単元の目標と評価規準

- ・買いたい物を選び、買い物(支払い)をすることができる。
- ・経験したことを、写真を手掛かりにして、自分の言葉で伝えることができる。
- ・日程表をもとに、マナーを守って行動しようとするすることができる。

※各教科との関連

生活	<ul style="list-style-type: none"> ・商品を選び、支払いをすることができる。 ・日程表をもとに、マナーを守って行動しようとするすることができる。
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを、写真を手掛かりにして思い出し、自分の言葉で伝えようとしている。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻を読むことができる。 ・金種や貨幣の持つ価値がわかる。

6 単元指導計画及び評価規準（11時間取り扱い 本時4/11）

次	指導内容	時間	評価規準				評価方法
			A児	B児	C児	D児	
第一次	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通しをもつ ・『お楽しみ会』について話し合う 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の「買い物学習」を思い出し、本単元への意欲もっている。 ・自分の意見を言うことができる。 ・話し合いを通して、買うものを決めることができる 			学習の見通しを	行動観察 発言
第二次	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物に行くための準備をする (個別学習 ・集団学習) 	1	金種がわかる。硬貨を数えることができる。	チラシの中から買う物を見つけ、だいたいの値段を調べることができる。	パソコンで、バスの時刻と料金を調べている。	最寄りのバス停までの時間や自販機のジュースの値段を調べている。	発言 行動観察
		1	日程を確認しながら、日程表を書き写すことができる。	バスの時刻を比べながら、日程を考え、書き写すことができる。		日程を確認しながら、日程表を書き写すことができる。	発言 日程表
		1 本時	教師と一緒に、商品代を出すことができる。	お金の出し方を工夫して、商品代を不足なく出すことができる。		金額通りに、商品代を出すことができる。	行動観察 発言
		1	教師と一緒にジュースを買うことができる。	自動販売機で、一人でジュースを買うことができる。			行動観察 発言

		1	公共交通機関の利用マナーを理解している。	発言	
	買い物学習	3	<ul style="list-style-type: none"> 公共の場でのマナーを守っている。 教師と一緒に品物を選び、支払いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程表をもとに、公共の場でのマナーを守って行動している。 買う物を選んで、一人でレジで支払っている。 	行動観察
第三次	振り返りをする	1	写真を見ながら、活動したことを思い出し、教師と一緒に伝えることができる。	写真を見ながら、活動したことを思い出し、気持ちを入れながら、自分の言葉で伝えることができる。	発言
		1	写真を選んで、教師と一緒に吹き出しに書くことができる。	写真を選んで、その時の気持ちを作文や吹き出しに書くことができる。	発言 吹き出し 作文

7 本時の学習

(1) 目標

- ・金額がわかり、不足なくお金を出すことができる。
- ・財布からお金を取り出し、支払うことができる。

(2) 個人の目標

- A児：教師と一緒に、金種を選んで支払うことができる。
 B児：同じ金額でもいろいろな出し方があり、不足なく支払うことができる。
 C児：同じ金額でもいろいろな出し方があり、不足なく支払うことができる。
 D児：金額を見て、金額通りに一人で支払うことができる。

(3) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示(○) 予想される児童の反応(◇)	指導上の留意点・評価	備考
導入 3分	1 はじめのあいさつをする。 2 本時のめあて、および学習内容を知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> お金を払う練習を しましょう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員そろってあいさつができるよう、声をかける。 ・前時までの復習をし、学習意欲を高める。 ・見通しがもてるよう、学習内容を伝える。 	単元計画表
展開 40分	3 ケーキの材料を買う練習をする。 (1) 手持ちの金額を提示し、2つの品物のうち、どちらが買えるか考える。 (2) 品物の金額を読み、お金(模型)を選んで黒板に貼る。 (3) ちょうどどの額の硬貨がなかった時はどうしたらよいか考える。	○「AとBのどちらを買いますか。それはなぜですか。」 ○「〇〇はいくらでしょう。横に貼ってみましょう。」 ○「140円の時、10円玉がなかったらどうしますか。」	<ul style="list-style-type: none"> ・誰が何を買うのか確認する。 ・品物の金額を読む。 ・手持ちの金額より高いものは買えないことをおさえる。 ・「〇〇円が〇枚」という言い方で確認する。 ・これまでの生活経験を思い出させる。 ・提示された金額より大きな額 	絵カード お金の 模型

	<p>(4) 硬貨を使って、支払いの練習をする。</p>	<p>◇「200円出せば買える。」 ◇「おつりをもらう。」</p> <p>○「100円玉がなかったらどうしますか。」 ◇「50円玉を2枚出せばよい。」 ○「財布からお金を出して払ってみましょう。」 ○「最初にいくら入っているか確認しましょう。」</p> <p>◇「本物は小さいから難しいな。」 ◇「1枚ずつから順番に出していこう。」</p>	<p>を出せば買えることをおさえる。</p> <p>【評価場面1】(発言・行動) (A児) 教師と一緒に、金種を選んで出している。 (D児) 提示された金額通りに出している。 (B児・C児) 出し方を工夫して、不足なく出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物の財布や硬貨を使うことで、扱いに慣れさせる。 ・いくら払ったらよいか難しい時は、黒板の板書を見るよう促す。または、みんなで考える。 <p>【評価場面2】(発言・行動) ・レシート、おつりの受け取りも行う。</p>	<p>財布 硬貨</p>
<p>まとめ 2分</p>	<p>4 今日の学習を振り返る。</p> <p>5 次の時の学習を知る。</p> <p>6 終わりのあいさつをする。</p>	<p>○「〇〇代は払えそうですか？」</p> <p>○「次の時間は、自動販売機でジュースを買いましたよ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったところに目を向けて声をかける。 ・次の時の学習への期待感をもたせる。 	

(4) 評価